

大野中学校区小中一貫教育研究会



大野学園
廿日市市立大野西小学校
廿日市市立大野中学校

平成27年度
廿日市市立大野西小学校
廿日市市立大野中学校
研究主題

「交流」のある授業づくりを通じた
説明力の育成

はじめに

- 平成24年度～平成26年度，広島県の学力総合
対策事業指定
- 平成27年4月～施設一体型小中一貫教育推進校
- 平成27年度 『学びの変革』パイロット校事業指定校
- 小学校と中学校が連携した計画的・重点的な授業改善
の実施
- 昨年度までの「大野まなびのサイクル」の継承
 - ①分かりやすい「めあて」の提示
 - ②「めあて」を達成するための「交流」場面の設定
 - ③「めあて」に対応した「振り返り(まとめ)」の実施

発表の柱

- 1 研究主題設定の理由
- 2 研究内容
- 3 研究の実際
- 4 成果と課題

研究主題設定の理由

- 昨年度までの研究の成果と課題

【成果】

- 小学校児童の学力が県平均値を上回るようになり，
中学校生徒も一定の成果が出てきている。
- 「大野まなびのサイクル」を意識した授業実践について，
90%以上の授業者が肯定的評価をしている。

研究主題設定の理由

- 昨年度までの研究の成果と課題

【課題】

- 授業において，インプットが多く，アウトプットが少ない。
- 根拠や理由を明確にして表現する設問において，県平均値を
下回っている。
- 「交流」場面においては，児童生徒の発達段階に応じて，手法が
有効に機能するための改善策を考える必要がある。

「交流」のある授業づくりを通じた
説明力の育成

研究内容

「交流」のある授業づくりを通した
説明力の育成

「説明力」の定義

根拠や理由を付けて自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝える力

対象：自分・班や学級、学校の児童生徒・未知既知の人
手段：口述・記述・非言語
媒体：説明ツール・ノート・黒板・ホワイトボード・模造紙・画用紙
電子黒板・タブレット端末

研究内容

「交流」のある授業づくりを通した
説明力の育成

「交流」の定義

- ①「めあて」を達成するための手立てである。
- ②根拠や理由をつけて話したり書いたりする活動である。
- ③聞き手は、視点に沿って評価(ピア・フィードバック)する活動である。
- ④学習形態(ペア・グループ・全体)には、とられない。

研究内容

「交流」のある授業づくりを通した
説明力の育成

【授業改善の指針】

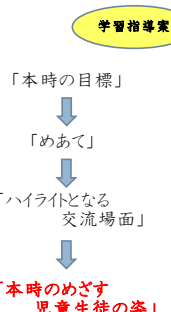
- ①「振り返り(まとめ)」を書かせる視点を明確にし、「めあて」を設定する。
- ②「交流」においては、相手に分かりやすく説明をさせるために、「説明ツール」を活用する。
- ③「交流」においては、ピア・フィードバックを有効に機能させるために、「交流の視点」を明確に提示する。
- ④小中一貫した「取組の重点項目」を定め、具体的な取組を行うことで、説明力や自己有用感を高める。

研究の実際

【授業改善の指針】

- ①「振り返り(まとめ)」を書かせる視点を明確にし、「めあて」を設定する。

授業の終末段階で、「振り返り(まとめ)」を書く児童生徒の姿を明確にして、「めあて」を提示する。

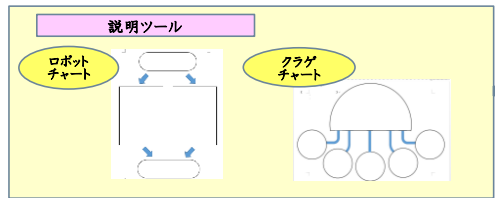


<p>学習指導案</p> <p>7 最終の学習（1時間目）</p> <p>目標の提示</p> <p>児童が、指導案の目標に沿って授業を行い、教師も多量数の内算の計算の仕方を知ることが出来る。</p>
<p>めあて</p> <p>児童が、目標の達成を達成するために必要な目標の達成の仕方を知ることが出来る。</p>
<p>ハイライトとなる交流場面</p> <p>教師が、児童の学習の様子を監視し、説明や質問には、それを基にして授業を進めていくことが出来る。</p>
<p>目標の達成を達成するための手立て</p> <p>・教師が、児童の目標に沿って、児童の学習を進めます。</p> <p>・児童が、目標の達成を達成するために必要な目標の達成の仕方を知ることが出来る。</p> <p>・教師が、児童の学習の様子を監視し、説明や質問には、それを基にして授業を進めていくことが出来る。</p> <p>・児童が、目標の達成を達成するために必要な目標の達成の仕方を知ることが出来る。</p>

研究の実際

【授業改善の指針】

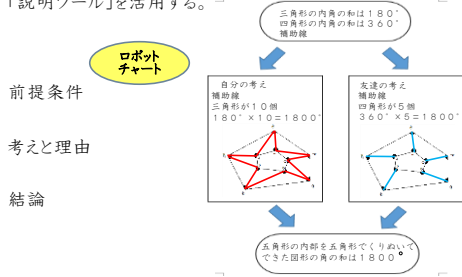
- ②「交流」においては、相手に分かりやすく説明をさせるために、「説明ツール」を活用する。



研究の実際

【授業改善の指針】

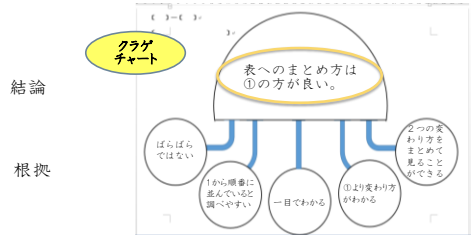
②「交流」においては、相手に分かりやすく説明をさせるために、「説明ツール」を活用する。



研究の実際

【授業改善の指針】

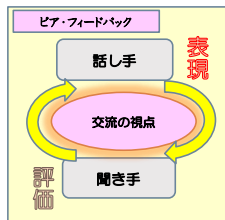
②「交流」においては、相手に分かりやすく説明をさせるために、「説明ツール」を活用する。



研究の実際

【授業改善の指針】

③「交流」においては、ピア・フィードバックを有効に機能させるために、「交流の視点」を明確に提示する。



研究の実際

【授業改善の指針】

④小中一貫した「取組の重点項目」を定め、具体的な取組を行うことで、説明力や自己有用感を高める。

		平成27年度大野中学校区取組の重点項目	
		「説明力」を身に付けた児童・生徒の姿	反応する際の目標予姿
		表現する際の目標予姿	反応する際の目標予姿
小学校	1年	大事なことを順序を考慮して表現できる児童	相手の考えを受け止め「なぜ」として聞くことができる児童
	2年		
	3年	自分の考えに理由を付けて表現できる児童	話し手の考えと自分の考えの相違点を「私を付けて聞き」言葉を送ることができる児童
	4年		
中学校	5年	自分の意見の根拠を明確に表現できる児童	話し手の意図をどんん、比べたり関連付けたりして聞き、自分の意見をもつことができる児童
	6年		
中学校	7年	自分の意見を説得力をもって表現できる生徒	話し手の意見を評価して聞き、説得力をもって自分の意見を返すことのできる生徒
	8年		
	9年		

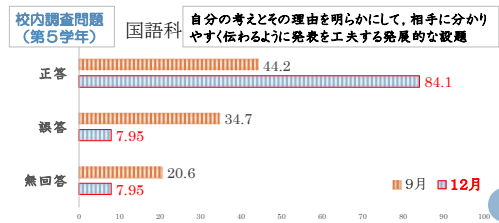
小中一貫した「大野まなび」のモデル



成果と課題

【成果】

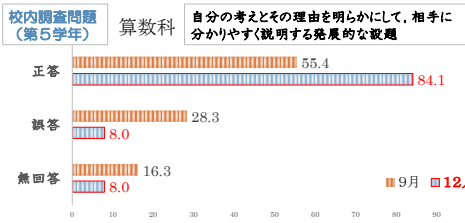
①説明力の向上



成果と課題

【成果】

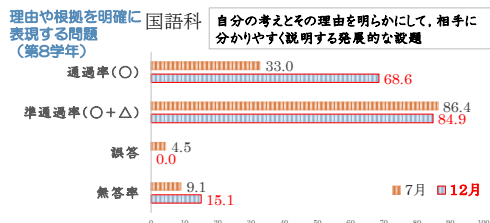
①説明力の向上



成果と課題

【成果】

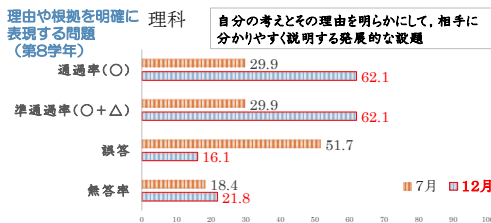
①説明力の向上



成果と課題

【成果】

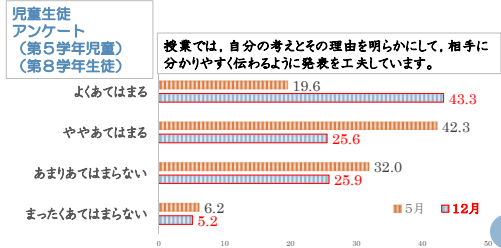
①説明力の向上



成果と課題

【成果】

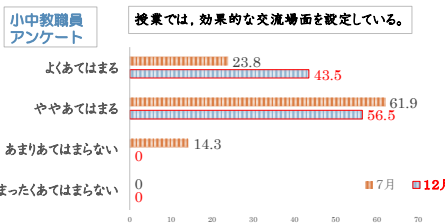
①説明力の向上



成果と課題

【成果】

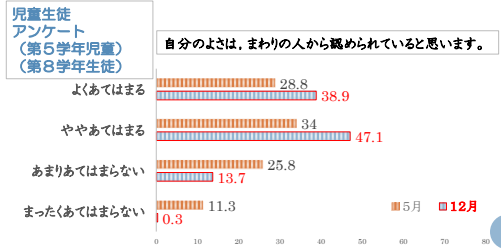
②「交流」の定着



成果と課題

【成果】

③ 自己有用感の向上



成果と課題

【課題】

- ①「説明ツール」の効果的な活用法や「交流の視点」に対する児童生徒の相互評価の妥当性を高める指導を工夫する。
- ②児童生徒が主体的に活動するための「課題発見・解決学習」についての指導を工夫する。
- ③児童生徒の自己有用感を更に高めるための指導を工夫する。

ご清聴ありがとうございました



大野学園
廿日市市立大野西小学校
廿日市市立大野中学校